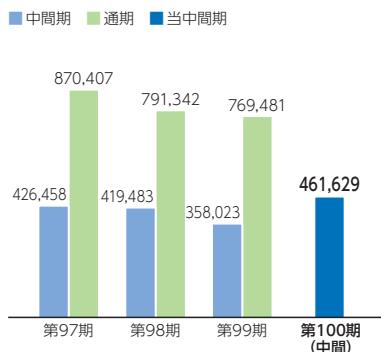


第100期 中間報告書

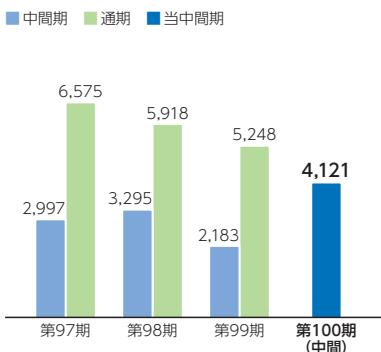
平成29年4月1日から平成29年9月30日まで

■ 財務ハイライト (連結)

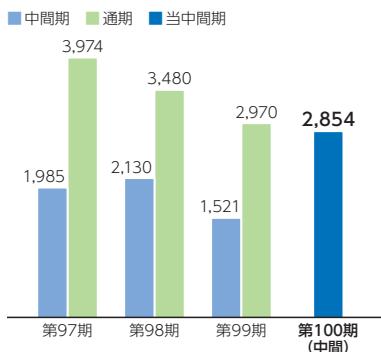
売上高 (百万円)



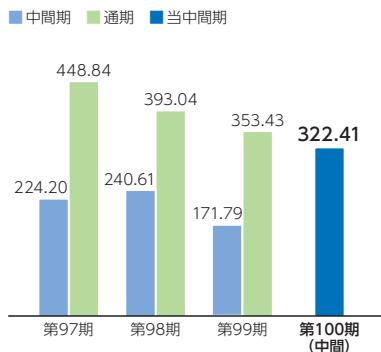
経常利益 (百万円)



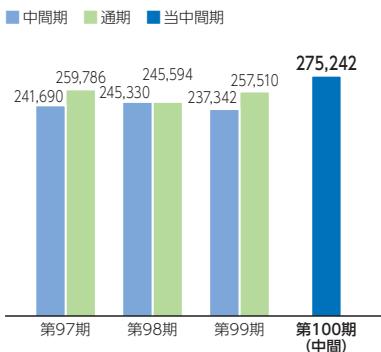
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



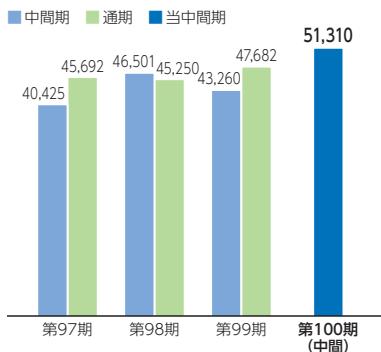
1株当たり当期純利益 (円)



総資産額 (百万円)



純資産額 (百万円)



※ 1株当たり当期純利益について
第97期の期首に株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

C O N T E N T S

財務ハイライト (連結)	1	業績予想/配当状況/株式の状況	6
株主の皆さまへ	2	神鋼商事グループ海外ネットワーク	7・8
事業セグメント別の概況	3・4	トピックス	9
連結決算	5	会社データ/国内事業所及び子会社	10

■ 株主の皆さまへ

企業理念

私たちは誠実をモットーに、新しい価値の創造を通じて、豊かな社会づくりと、みんなの幸せをめざします。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。

ここに、第100期中間期（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）の当社グループの現況等につき、ご報告させていただきますので、ご高覧のほどお願い申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、着実に回復が続く米国経済に加え、中国をはじめとする新興国等では持ち直しの動きがあり、緩やかに回復が続きました。わが国経済は、力強さに欠ける個人消費及び地政学的リスクの懸念はあるものの、堅調な輸出環境等に伴う企業収益の向上を背景に、設備投資と雇用環境に引き続き改善が見られる等、緩やかな成長が続きました。

このような環境の下、当社グループは、海外においては、昨年本格稼働したメキシコの冷間圧造用鋼線の製造・販売会社「Kobelco CH Wire Mexicana, S.A. de C.V.」が需要家各社の工場承認を順次取得し、量産を開始しました。また、韓国のアルミ板切断加工・卸売会社「KTN Co., Ltd.」が現地での液晶・半導体製造装置の需要拡大への対応を目的に工場の拡張移転を実施する等、グローバルビジネス展開の基盤拡充を図ってまいりました。国内においても、鋼板製品の切断加工・卸売会社「森本興産株式会社」を株式取得により子会社化する等、販売体制の強化を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は4,616億29百万円（前年同四半期比28.9%増）、営業利益は36億25百万円（同94.2%増）、経常利益は41億21百万円（同88.8%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は28億54百万円（同87.7%増）となりました。

当期の中間配当金につきましては、1株当たり45円とし、お支払い日を12月5日とさせていただきます。

なお、1株当たりの年間配当金は90円を予定しております。

株式会社神戸製鋼所が平成29年10月8日以降に公表しました神戸製鋼グループの品質問題により、平成29年4月28日に開示いたしました通期連結業績予想に影響が及ぶことが懸念されます。同問題がまだ収束していない状況下では、当社グループの下期業績に与える影響は見通せないものの、当社顧客との関係においては、取引への大きな影響は現在のところ出ておりませんので、通期連結業績予想は変更していません。今後、事態の收拾が進むことで、売上高の減少や損失の発生等が生じ、当社業績に影響を与える可能性があります。開示する必要が生じた場合には、すみやかに開示いたします。期末配当金につきましても、業績予想と同様の理由により変更していません。

今回の神戸製鋼グループの品質問題の影響により、株主の皆さまにご心配をお掛けしておりますことにつきお詫び申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、何とぞ今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月



代表取締役社長 森地 高文

■ 事業セグメント別の概況

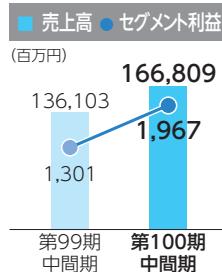
鉄鋼セグメント

鋼板製品は国内外ともに取扱量はほぼ横ばいで推移しましたが、堅調な製造業の需要に支えられ価格が上昇しました。線材製品は国内外ともに取扱量はほぼ横ばいで推移しましたが、自動車向け価格の上昇の影響等により価格が上昇しました。

この結果、売上高は1,668億9百万円（前年同四半期比22.6%増）となり、セグメント利益は19億67百万円（同51.2%増）となりました。



線材二次加工工場



鉄鋼原料セグメント

輸入鉄鋼原料は取扱量が増加し、価格も上昇しました。冷鉄源、合金鉄は取扱量が増加し、価格も上昇しました。チタン原料は取扱量が増加しましたが、価格は下落しました。

この結果、売上高は1,558億9百万円（前年同四半期比58.5%増）となり、セグメント利益は5億59百万円（同61.4%増）となりました。



モランパノース炭鉄プロジェクト



非鉄金属セグメント

銅製品は空調用銅管、自動車向け端子材用銅板条、半導体向け銅板条の取扱量が増加しました。アルミ製品は自動車用アルミ部材、液晶・半導体製造装置用アルミ部材の取扱量が増加しました。また、非鉄原料は銅スクラップ、アルミ地金の取扱量が増加しました。

この結果、売上高は1,179億2百万円（前年同四半期比23.9%増）となり、セグメント利益は11億66百万円（同66.4%増）となりました。



ディスク材



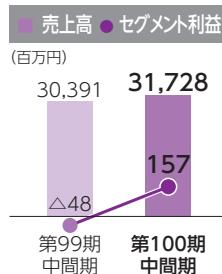
機械・情報セグメント

機械製品は海外向け産業機械等の取扱いが減少しましたが、国内向け熱処理炉、汎用圧縮機、産業用電磁ブレーキの取扱いは増加しました。情報関連商品は、太陽電池関連機器等の取扱いが減少しましたが、電池用フィルム、液晶用電子材料、パソコン用部品等の取扱いは増加しました。

この結果、売上高は317億28百万円（前年同四半期比4.4%増）となり、セグメント利益は1億57百万円（前年同四半期は48百万円の損失）となりました。



真空成膜装置



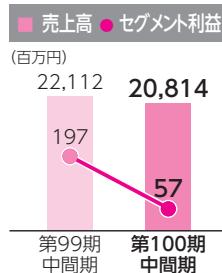
溶材セグメント

溶接材料は建築鉄骨、建設機械、国内流通向けは堅調に推移しましたが、化工機、輸出関連の取扱量は減少しました。溶接関連機器は汎用溶接機、鉄骨溶接ロボットシステムの取扱いが堅調に推移し、海外造船向け設備案件の取扱いは増加しました。生産材料は溶剤原料は堅調に推移しましたが、チタン原料の取扱量が減少しました。

この結果、売上高は208億14百万円（前年同四半期比5.9%減）となり、セグメント利益は57百万円（同71.0%減）となりました。



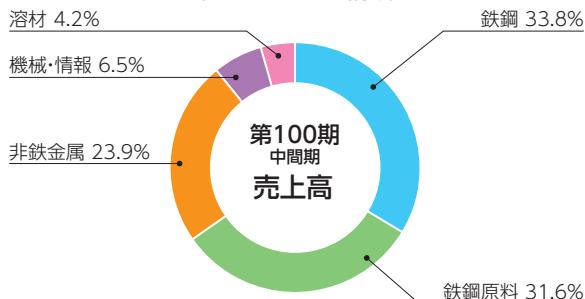
鉄骨溶接ロボットシステム



連結セグメント構成

		(百万円)	
セグメント		売上高	セグメント利益
鉄	鋼	166,809	1,967
鉄	鋼	原料	559
非	鉄	金属	1,166
機	械	・	情報
溶	材	20,814	57
そ	の	他	△16
(消去または全社)		△31,621	230
合	計	461,629	4,121

連結セグメント構成比



※上記連結セグメント構成比には、報告セグメントに属さないその他の売上高及び内部取引消去額を含んでおりません。

■ 連結決算

■ 四半期貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第99期 平成29年3月31日現在	第100期中間期 平成29年9月30日現在
資産の部		
流動資産	215,602	231,389
固定資産	41,908	43,853
有形固定資産	8,611	8,709
無形固定資産	807	788
投資その他の資産	32,488	34,355
資産合計	257,510	275,242
負債の部		
流動負債	181,884	193,829
固定負債	27,943	30,103
負債合計	209,827	223,932
純資産の部		
株主資本	42,185	44,510
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,703	2,703
利益剰余金	33,850	36,173
自己株式	△19	△16
その他の包括利益累計額	3,079	3,881
非支配株主持分	2,417	2,918
純資産合計	47,682	51,310
負債純資産合計	257,510	275,242

(百万円未満切捨て)

■ 四半期損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第99期中間期 平成28年4月1日～平成28年9月30日	第100期中間期 平成29年4月1日～平成29年9月30日
売上高	358,023	461,629
売上原価	345,528	446,730
売上総利益	12,494	14,899
販売費及び一般管理費	10,627	11,273
営業利益	1,867	3,625
営業外収益	1,010	1,286
営業外費用	693	790
経常利益	2,183	4,121
特別利益	—	90
特別損失	10	56
税金等調整前四半期純利益	2,172	4,155
法人税、住民税及び事業税	845	1,393
法人税等調整額	△60	△151
四半期純利益	1,387	2,913
非支配株主に帰属する四半期純利益	△133	59
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,521	2,854

(百万円未満切捨て)

■ 四半期キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第99期中間期 平成28年4月1日～平成28年9月30日	第100期中間期 平成29年4月1日～平成29年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△793	△3,145
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,027	△117
財務活動によるキャッシュ・フロー	791	2,928
現金及び現金同等物に係る換算差額	△771	△36
現金及び現金同等物の増減額	△1,801	△370
現金及び現金同等物の期首残高	16,897	16,490
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,096	16,119

(百万円未満切捨て)

業績予想・配当状況・株式の状況

平成30年3月期の連結業績予想

平成29年4月1日～平成30年3月31日

	前期実績	今期予想	対前期増減率
売上高	769,481百万円	850,000百万円	10.5%
営業利益	4,819百万円	5,300百万円	10.0%
経常利益	5,248百万円	5,800百万円	10.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,970百万円	3,700百万円	24.6%
※1株当たり当期純利益	335.43円	417.85円	24.6%

※上記の今期予想は平成29年4月28日開示の予想数値であり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

株式の状況

発行可能株式総数 27,000,000株

発行済株式の総数 8,856,001株
(自己株式4,561株を除く)

株主数 3,693名
(前事業年度末比722名減)

大株主（上位10名）

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
みずほ信託銀行株式会社 (退職給付信託神戸製鋼所口)	1,906,200	21.52
株式会社神戸製鋼所	1,179,118	13.31
神商取引先持株会	703,800	7.95
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口）	345,100	3.90
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社（信託口）	203,200	2.29
神鋼商事従業員持株会	159,431	1.80
シンフォニアテクノロジー株式会社	150,000	1.69
株式会社三菱東京UFJ銀行	109,280	1.23
株式会社三井住友銀行	103,429	1.17
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	100,299	1.13

配当状況

	1株当たり配当金（円）			配当金総額 （年間） （百万円）	配当性向 （連結） （%）	純資産 配当率 （年間） （%）
	中間期末	期末	年間			
平成30年3月期	45.00	45.00 (予想)	90.00 (予想)	—	—	—
平成29年3月期	4.00	60.00	—	885	29.8	2.0
平成28年3月期	4.00	4.00	8.00	708	20.4	1.7
平成27年3月期	3.00	5.00	8.00	708	17.8	1.8

※平成28年10月1日付けで、当社普通株式について、単元株式数の変更（1,000株から100株に変更）及び株式併合（10株を1株に併合）を実施しましたので、平成29年3月期の年間配当金は「—」と記載しております。

所有者別株式分布状況

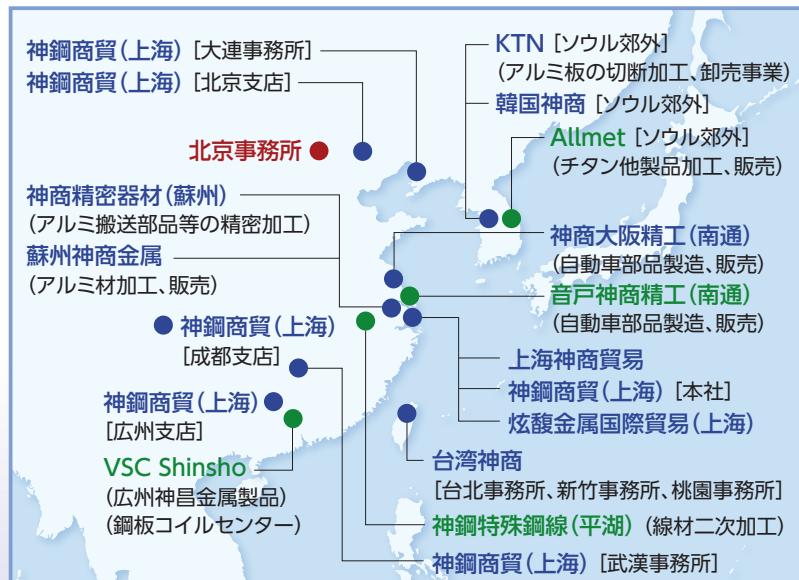


所有株数別株式分布状況

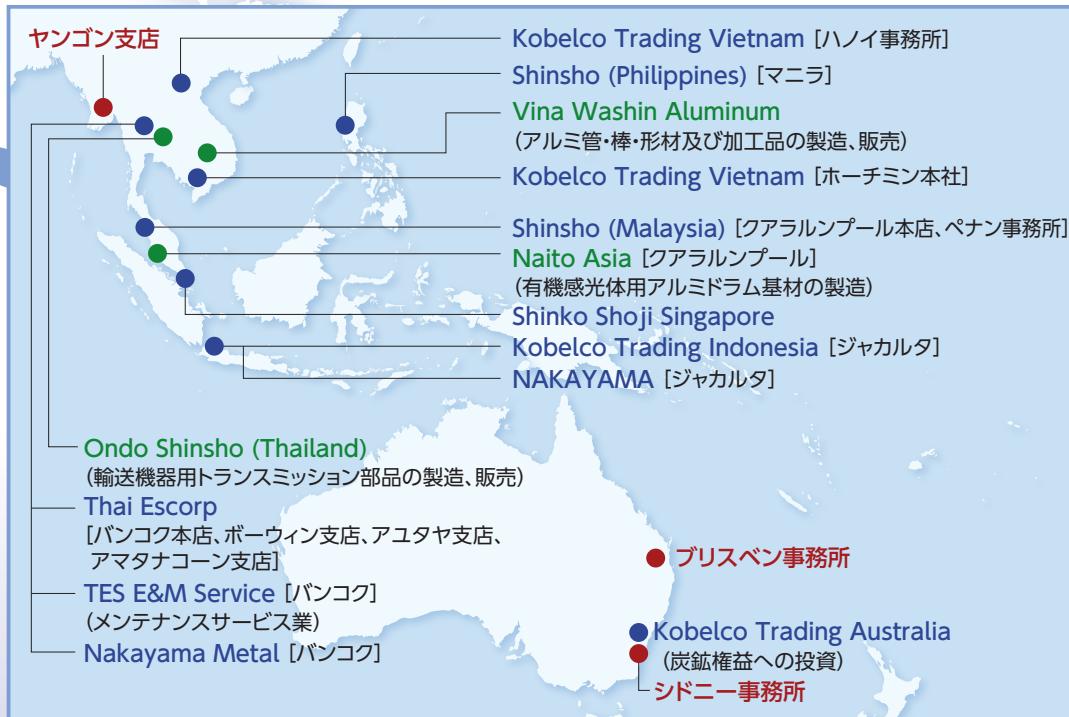


(ご参考)

神鋼商事グループ海外ネットワーク (2017年9月30日現在)



- 海外事業所
- 主要子会社
- 主要関連会社



THAI ESCORP LTD. Donation Project 実施について

当社タイ現地法人「THAI ESCORP LTD. (以下、タイエスコープ)」は現地時間の本年6月22日及び23日に、CSR活動の一環として、「THAI ESCORP LTD. Donation Project」と題して、現地の恵まれない小学生や、その子どもたちが通学する小学校を対象に、制服や文房具、スポーツ用品等の寄付を実施いたしました。

タイエスコープは1988年に設立し、それ以降、長年に亘りタイ国において事業を行ってきました。今回の活動は、企業活動による同国への貢献だけでなく、「寄付」を通じて、同国の恵まれない小学生／小学校を支援することで、同国への貢献をしていくものです。

また、この活動は、ナショナルスタッフの帰属意識及びモチベーションアップにもつながっています。

【THAI ESCORP LTD. Donation Projectの概要】

1. 対象範囲	タイ国全域の小学校 (国の機関である教育委員会より候補となる対象校を推薦、その後、タイエスコープにより選定)
2. 寄付の内容	制服や文房具、スポーツ用品等の物品 (30万タイバーツ／100万円相当)
3. 実施時期	毎年1回
4. 2017年度 寄贈先	①Ban Bang School 所在地：タイ王国 パヤオ県 人数：72名 (生徒、先生等) ②Ban Num Poon School 所在地：タイ王国 ナーン県 人数：41名 (生徒、先生等)



寄贈の様子 (Ban Bang School)



寄贈の様子 (Ban Num Poon School)

同活動につきましては、今後、毎年1回行っていく予定でございます。

今後もタイエスコープ及び当社グループは、地域貢献の視点から、このような活動を通じて、企業価値の向上に努めてまいります。

【THAI ESCORP LTD. 会社概要】

設立年月	1988年5月
所在地 (本社)	1126/2 Vanit Bldg. II, Room 2102, 2103, New Petchburi Road., Makkasan, Rajthevee, Bangkok 10400, Thailand
代表者	中村 哲也
従業員数	74名 (2016年度)
主要事業	鉄鋼、鉄鋼原料、非鉄金属、機械及び溶材製品の売買及び輸出入

■ 会社データ (平成29年9月30日現在)

■ 会社概要

設立 昭和21年11月12日
発行済株式総数 8,860,562株
資本金 5,650,281,250円
主要取扱品目 鉄鋼、鉄鋼原料、非鉄金属、機械、
情報産業関連商品、溶材

■ 役員

取締役及び監査役

代表取締役社長	森地 高文
代表取締役	津村 拓良
代表取締役	大西 健司
取締役	岡本 利一
取締役	後藤 隆
取締役	加藤 宏
取締役	渡辺 寛
取締役	大西 健児
取締役	小宮山 司
取締役	阪本 清
監査役(常勤)	大城 誠
監査役(常勤)	金子 正樹
監査役	吉田 裕信
監査役	浄弘 明彦

執行役員

※ 専務執行役員	長 森地 高文
※ 専務執行役員	津村 拓良
※ 専務執行役員	大西 健司
※ 専務執行役員	岡本 利一
※ 専務執行役員	松田 隆
※ 専務執行役員	後藤 宏
※ 専務執行役員	加藤 修徳
※ 専務執行役員	渡辺 寛
※ 専務執行役員	松原 美弘
※ 専務執行役員	中井 通雄
※ 専務執行役員	大西 健児
※ 専務執行役員	牟田 智
執行役員	向井 恭也
執行役員	前田 芳宏
執行役員	足達 雅人
執行役員	松林 正人

(注)1 取締役のうち、小宮山 司及び阪本 清の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であり、株式会社東京証券取引所に独立役員として届出ております。

(注)2 監査役のうち、吉田 裕信及び浄弘 明彦の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

(注)3 執行役員のうち、上記※印の各氏は取締役を兼務しております。

■ 国内事業所 及び 子会社

事業所

大阪本社	大阪市中央区北浜二丁目6番18号
東京本社	東京都中央区日本橋一丁目2番5号
名古屋支社	名古屋市中村区名駅三丁目28番12号
神戸支社	神戸市中央区脇浜海岸通二丁目2番4号
九州支社	福岡市博多区博多駅中央街1番1号
支店	中国(広島)、加古川、静岡、北陸(富山)、 東北(仙台)、札幌
出張所	熊本、徳山、岐阜

子会社

神商鉄鋼販売株式会社	大阪市中央区北浜二丁目6番18号 淀屋橋スクエア
森本興産株式会社	大阪市西区新町一丁目11番21号
神商非鉄株式会社	大阪市中央区北浜二丁目6番18号 淀屋橋スクエア
中山金属株式会社	東京都目黒区下目黒二丁目1番14号
コベルコ筒中トレーディング株式会社	東京都目黒区下目黒二丁目1番14号
株式会社マツポー	東京都港区虎ノ門三丁目8番21号 虎ノ門33森ビル4F
アジア化工株式会社	大阪市中央区伏見町三丁目2番4号 淀屋橋戸田ビル
エスシーウエル株式会社	大阪市淀川区西中島四丁目6番17号
神商ビジネスサポート株式会社	大阪市中央区北浜二丁目6番18号 淀屋橋スクエア

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領
株主確定日 3月31日

中間配当金受領
株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
(お問合わせ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

公告方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.shinsho.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

最新の当社IR情報等をご覧ください。



▶ 神鋼商事ホームページ

<http://www.shinsho.co.jp/>



〒541-8557 大阪市中央区北浜二丁目6番18号
電話 (0120) 580-217
<http://www.shinsho.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。